

I 放送大学学園の概要

- 事業内容
- 1 放送大学を設置し、これを運営すること
 - 2 放送大学の教育に必要な放送を行うこと
 - 3 その他必要な業務を行うこと

事務所の所在地 千葉県千葉市美浜区若葉2丁目11番地

役員の数等

定数：理事7人以上9人以内（うち常勤6人以内）、監事2人（うち非常勤1人）
（平成28年3月31日現在）

氏名	役職	任期	経歴
白井克彦	理事長	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	昭和50年4月 早稲田大学教授 平成14年11月 早稲田大学総長 平成23年4月 放送大学学園理事長
岡部洋一	理事（学長）	平成27年5月1日～ 平成29年3月31日	平成元年12月 東京大学教授 平成18年4月 放送大学教授 平成21年4月 放送大学学園理事・副学長 平成23年5月 放送大学学長
石野利和	理事	平成27年10月1日～ 平成29年9月30日	昭和56年4月 文部省入省 平成23年9月 文化庁文化財部長 平成25年10月 放送大学学園理事
多田誠一	理事	平成27年10月1日～ 平成29年9月30日	昭和52年4月 大蔵省入省 平成27年7月 財務省主計局主計監査官 平成27年10月 放送大学学園理事
奥英之	理事	平成27年10月1日～ 平成29年9月30日	昭和58年3月 郵政省入省 平成26年7月 総務省近畿総合通信局長 平成27年7月 放送大学学園理事
來生新	理事	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	平成元年4月 横浜国立大学教授 平成17年4月 横浜国立大学理事・副学長 平成21年5月 放送大学教授 平成23年5月 放送大学副学長 平成26年4月 放送大学学園理事・副学長
佐藤和人	理事（非常勤）	平成27年10月1日～ 平成29年9月30日	平成11年4月 日本女子大学教授 平成19年4月 学校法人日本女子大学理事・ 日本女子大学家政学部長 平成25年4月 学校法人日本女子大学理事 長・日本女子大学学長 平成25年10月 放送大学学園理事（非常勤）
永田恭介	理事（非常勤）	平成27年10月1日～ 平成29年9月30日	平成13年2月 筑波大学教授 平成25年4月 筑波大学学長 平成27年10月 放送大学学園理事（非常勤）
原田豊彦	理事（非常勤）	平成27年10月1日～ 平成29年9月30日	平成19年4月 日本放送協会専務理事・放送 総局長 平成22年10月 日本放送協会学園理事長 平成25年10月 日本放送協会学園特別経営主 幹 放送大学学園理事（非常勤）
関口一材	監事	平成26年5月1日～ 平成28年4月30日	昭和49年10月 学校法人慶應義塾採用 平成25年11月 学校法人慶應義塾塾監局参事 平成26年1月 放送大学学園監事
石井尚子	監事（非常勤）	平成27年10月1日～ 平成29年9月30日	平成16年10月 弁護士 平成27年10月 放送大学学園監事（非常勤）

教員及び職員の数 教員：97人
職員：251人

沿革

昭和56年	7月	放送大学学園設立
昭和58年	4月	放送大学設置
昭和59年	10月	東京放送局免許
昭和59年	12月	前橋放送局免許
昭和60年	4月	関東地方の一部において、テレビ（地上アナログ放送）・ラジオによる授業放送を開始するとともに学生を受入れ
平成2年	10月	関東地方以外において、順次ビデオ・オーディオテープを利用した授業等を行うとともに学生を受入れ
平成10年	1月	衛星（CS）放送による授業番組等の全国放送の開始
平成10年	10月	全国の学習センターで全科履修生の実入開始
平成13年	4月	放送大学大学院修士課程設置
平成14年	4月	放送大学大学院修士課程学生実入開始
平成15年	10月	特殊法人から特別な学校法人へ移行
平成18年	12月	地上デジタル放送開始（放送エリアは地上アナログ放送と同様）
平成21年	6月	BSデジタル放送の委託放送業務の認定
平成23年	7月	地上アナログテレビ放送の終了
平成23年	10月	BSデジタル放送による授業番組等の全国放送の開始
平成24年	3月	CS放送の終了
平成26年	4月	放送大学大学院博士後期課程設置
平成26年	10月	放送大学大学院博士後期課程学生実入開始
平成27年	4月	オンライン授業の開始

設立に係る根拠法 放送大学学園法（平成14年12月13日法律第156号）

主管省庁名 文部科学省，総務省

審議等機関

名称 評議員会

業務内容

- ・ 理事長の諮問に応じ、放送大学学園の業務の運営に関する重要事項について審議する。
- ・ 放送大学学園の業務の運営につき、理事長に対して意見を述べる。

構成員

【定数：20～27人 現員：27人】

(平成28年3月30日現在)

氏名	職名等
安部 恵美子	日本私立短期大学協会副会長（長崎短期大学学長）
安齋 尚志	日本放送協会理事
内海 房子	独立行政法人国立女性教育会館理事長
浦野 光人	株式会社ニチレイ相談役
大島 慎子	筑波学院大学学長
岡部 洋一	放送大学長
川嶋 明	一般社団法人日本新聞協会専務理事
來生 新	放送大学副学長
鬼頭 達男	一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター理事長
木村 信哉	一般社団法人日本民間放送連盟専務理事
小寺山 亘	放送大学副学長
佐藤 和人	学校法人日本女子大学理事長・日本女子大学学長
島田 尚信	U Aゼンセン副会長
白井 克彦	放送大学学園理事長
庄山 悦彦	株式会社日立製作所相談役
清家 篤	日本私立大学団体連合会会長（慶應義塾長）
寺本 充	公益社団法人日本PTA全国協議会会長
徳久 剛史	国立大学法人千葉大学長
内藤 敏也	千葉県教育委員会教育長
永田 恭介	一般社団法人国立大学協会副会長（国立大学法人筑波大学長）
羽入 佐和子	国立研究開発法人理化学研究所理事
原田 豊彦	学校法人日本放送協会学園特別経営主幹
樋口 修資	明星大学教授
福田 俊男	公益財団法人民間放送教育協会理事長（株式会社テレビ朝日専務取締役）
宮本 みち子	放送大学副学長
矢野 正義	放送大学同窓会連合会会長
吉田 和文	放送大学学園事務局長

II 事業の実施状況

1 放送大学を設置し、これを運営することに関する事項

(1) 学生の募集等

下記のとおり、平成27年度第2学期学生募集を行った。

(単位：人)

区 分		入学定員	募 集 期 間 等
教養学部	第2学期 全科履修生	15,000	(第1回) 6月15日～8月31日 (第2回) 9月 1日～9月20日
	第2学期 選科履修生 科目履修生	40,000	
大学院 文化科学研究科	第2学期 修士選科生 修士科目生	11,000	(第1回) 6月15日～8月31日 (第2回) 9月 1日～9月20日

下記のとおり、平成28年度第1学期学生募集を行った。

(単位：人)

区 分		入学定員	募 集 期 間 等
教養学部	第1学期 全科履修生	15,000	(第1回) 12月 1日～2月29日 (第2回) 3月 1日～3月20日
	第1学期 選科履修生 科目履修生	40,000	
大学院 文化科学研究科	修士全科生	500	(8月15日～8月31日募集) 10月4日 第1次選考(筆記試験) 11月21, 22日 第2次選考(面接試問) 12月11日 最終合格者決定
	第1学期 修士選科生 修士科目生	11,000	(第1回) 12月 1日～2月29日 (第2回) 3月 1日～3月20日
	博士全科生	10	(8月15日～8月31日募集) 10月4日 第1次選考(筆記試験) 11月15日 第2次選考(面接試問) 12月11日 最終合格者決定

このほか平成27年度集中科目履修生として「看護師資格取得に資する科目」の募集を5月1日～31日の間行った。また、「図書教諭資格取得に資する科目」については、5月1日～6月7日の間に行った。

(入学者数推移)

[学 部]

(単位：人)

年 度	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
全科履修生	7,963	4,448	7,765	4,093	6,670	4,249	7,763	4,205	7,402	—
選科履修生	11,866	6,228	11,496	5,963	10,869	5,940	11,864	6,250	11,628	—
科目履修生	7,290	7,838	6,504	7,525	6,916	7,559	6,691	7,603	6,306	—
特別聴講学生	1,520	3,626	1,189	3,459	1,304	3,317	1,217	3,395	1,248	—

[大学院]

(単位：人)

年 度	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
修士全科生	394		440		402		374		386	
修士選科生	2,632	1,062	2,651	1,114	2,597	1,104	2,600	1,085	2,448	—
修士科目生	706	890	655	956	490	688	505	672	515	—
特別聴講学生	0	0	0	0	0	0	0	1	1	—
博士全科生	-		-		12		12		13	

(2) 学生の教育等

- ① 平成27年度第1学期の在学者（学部83,642人，大学院修士課程5,369人，大学院博士後期課程24人）及び平成27年度第2学期の在学者（学部86,439人，大学院修士課程5,515人，大学院博士後期課程24人）に対して放送授業，面接授業，通信指導，研究指導，単位認定試験等を下記のとおり実施した。

放送授業	<ul style="list-style-type: none"> ・放送授業の放送期間 第1学期 平成27年 4月1日～ 4月28日 平成27年 5月6日～ 7月21日 <li style="text-align: right;">} 15週間 第2学期 平成27年10月1日～12月28日 平成28年 1月5日～ 1月20日 <li style="text-align: right;">} 15週間 ・第1学期学部281科目，大学院66科目，第2学期学部283科目，大学院66科目を放送 <p style="margin-left: 20px;">（ なお，平成27年4月29日～5月5日及び平成27年12月29日～28年1月4日を「ゆとりの期間」として，また，平成27年7月22日～9月30日及び平成28年1月21日～3月31日を「集中放送授業期間」として，特別講義を放送するほか授業番組の一部を再放送 集中放送授業期間，ゆとりの期間（年末・年始）には，「司書教諭資格取得に資する科目」（5科目），「看護師資格取得に資する科目」（6科目），「教員免許更新講習に関する科目」（7科目）を放送 ）</p>
オンライン授業	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業の配信期間 第1学期：平成27年4月～ 第2学期：平成27年10月～ ・第1学期，第2学期ともに，学部2科目を配信

面接授業	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センター等で直接教員（客員・非常勤教員を含む）が指導を実施（スクーリング） ・面接授業は以下の期間で1科目85分の授業を8回実施 第1学期：平成27年 4月17日（金）～平成27年8月7日（金） 第2学期：平成27年10月16日（金）～平成28年2月7日（日） ・延べ3, 162クラスの面接授業を実施
通信指導	<ul style="list-style-type: none"> ・放送授業科目について、学期の途中に1回、一定範囲の問題を出題し、その添削を実施（通信指導の評価の結果によって単位認定試験の受験資格が与えられる） ・通信指導提出期限：平成27年 6月 8日（第1学期） 平成27年11月30日（第2学期） 〔平成27年 8月14日（集中科目履修生）〕
研究指導 （大学院）	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院修士課程では、研究指導を行い、第2年次の学生は修士論文等の審査を実施 ・大学院博士後期課程では、3名の教員による研究指導チームで博士論文作成のための指導を実施
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> ・教養学部 平成27年7月26日～ 8月 2日（第1学期） 平成28年1月24日～ 1月31日（第2学期） 〔集中科目履修 「司書教諭資格取得に資する科目」 平成27年10月16日 単位認定レポート提出期限 「看護師資格取得に資する科目」 平成27年 9月25日、26日〕 ・大学院文化科学研究科 平成27年7月24日～25日（第1学期） 平成28年1月22日～23日（第2学期）

また、学部において4, 954人の卒業認定、大学院修士課程において355人の修了認定を行った。

(学部卒業生数推移)

25年度	26年度	27年度			27年度末累計
		第1学期	第2学期	計	
4, 419人	4, 915人	1, 887人	3, 067人	4, 954人	89, 056人

(大学院修了生数)

25年度	26年度	27年度			27年度末累計
		第1学期	第2学期	計	
320人	357人	3人	352人	355人	4, 889人

- ② 専修免許状、特別支援学校の教諭免許状、栄養教諭免許状、幼稚園教諭免許状、看護師資格取得など各種資格の取得に資する教育を実施した。
- ③ 特定の科目群を履修し単位取得した学生に、認証状を発行・授与する科目群履修認証制度の認証プランの改善を図った。
- ④ 他大学等との単位互換・連携協力を、平成27年度末までに下記のとおり実施している。

単位互換		連携協力	
学部	大学院	専修学校	高等学校
385校	7校	31校	14校

- ⑤ 教員免許更新講習を開設し、下記のとおり夏期及び冬期に講習を実施した。
夏期 受講者数 6, 026人 冬期 受講者数 3, 622人

- ⑥ マレーシア・クアラルンプールで開催されたAAOU（アジア公開大学連合）に参加し、遠隔教育の直面する課題に対する議論等を通じて、各国との相互交流を図った。

(3) 教材の作成

- ① 平成28年度に新たに開設する放送授業科目学部54科目，大学院8科目について，放送教材及び印刷教材を作成するとともに，平成28年度に新たに開設するオンライン授業科目学部6科目，大学院2科目について，オンライン教材を作成した。また，特別講義16番組を制作した。
- ② 特別講義2番組について，番組に連動したデータ放送用コンテンツを制作した。
- ③ 授業科目18科目等の番組について字幕を付与した。
- ④ 放送教材の二次利用等の円滑化に資するため，教材作成段階において著作権処理について十分配慮するとともに，著作権処理データベースを運用し，効率的に著作権処理業務を行った。
- ⑤ 放送教材の作成経費について，執行プロセスを厳格に管理した。

(4) 学習センターの運営

- ① 学習センターにおいて，延べ3，162クラスの面接授業を実施した。
また，学生間の交流や学習意欲を促進するため，サークル活動や教員によるミニ講座等に供するなど講義室の有効活用を図った。
- ② 各学習センターにおいて下記の日程で単位試験を実施した。

・教養学部	平成27年7月26日～ 8月 2日（第1学期）
	平成28年1月24日～ 1月 31日（第2学期）
・集中科目履修生	
「司書教諭資格取得に資する科目」	平成27年10月16日 単位認定レポート提出期限
「看護師資格取得に資する科目」	平成27年 9月25日，26日
・大学院文化科学研究科	平成27年7月24日～25日（第1学期）
	平成28年1月22日～23日（第2学期）
- ③ 各学習センターにDVD，CD等の放送教材を配架し，再視聴学習機会の提供を行った。
- ④ 各学習センターにおいて，図書の貸出，学習相談，証明書の発行等の学生サービス業務を行った。
- ⑤ 各学習センターにおいて，当該地域の広報活動及び学生募集活動を行った。

(5) 施設設備の整備

- ① 本部施設及び埼玉学習センターの特別修繕を行った。
- ② 教育研究に必要な視聴設備の整備を進めるとともに，図書・学術雑誌の充実を図った。

(6) 授業評価の実施

授業内容の質的な充実を図るため，学生等による授業評価を実施した。
また，学部・大学院の教育方法改善を図るため，FD（Faculty Development）講演会を実施した。

(7) ICT活用教育の推進

- ① ICT活用教育のための教材開発や授業実施のための情報提供等を行い、本学における教育の質向上とICT活用教育の導入・推進を図った。
・オンライン学習大学ネットワークを介した大学間のeラーニング教材等の共有化を推進した。
- ② 学生の情報リテラシー向上のため、面接授業等による情報リテラシー教育を実施した。
- ③ 海外のICT活用教育推進機関などと連携するとともに、独立行政法人日本学生支援機構からの助成金(公益財団法人中島記念国際交流財団助成事業)を受け、11月に共催にて国際シンポジウムを開催した。
- ④ 総合研究大学院大学との連携を図り、同大学文化科学研究科メディア社会文化専攻に現に在籍する大学院生の指導を通じて、この分野における人材育成に協力した。

2 大学における教育に必要な放送の実施に関する事項

(1) 放送の実施

地上デジタルテレビ放送(東京放送局及び前橋放送局), FM放送(東京放送局及び前橋放送局), BSデジタルテレビ放送及びラジオ放送により、次のように授業番組等を放送した。

また、地上デジタルテレビ放送及びBSデジタルテレビ放送においては、ハイビジョン放送、マルチ編成及びデータ放送を実施した。

① 番組編成期間及び放送時間

- ・ 地上デジタルテレビ放送第1チャンネル, BSデジタルテレビ放送第1チャンネル, BSデジタルラジオ放送, 及びFM放送

番組編成期間	放送時間
放送授業期間 (第1学期) 平成27年 4月1日～ 4月28日 平成27年 5月6日～ 7月21日 (第2学期) 平成27年10月1日～12月28日 平成28年 1月5日～ 1月20日	【テレビ】 日曜及び月曜 午前6時から翌午前0時15分まで 火曜 午前6時から翌午前2時15分まで 水曜から土曜 午前5時15分から翌午前2時15分まで 【ラジオ】 日曜及び月曜 午前6時から翌午前0時15分まで 火曜から土曜 午前6時から翌午前0時45分まで
ゆとりの期間 平成27年 4月29日～ 5月 5日 平成27年12月29日～28年1月4日 集中放送授業期間 平成27年 7月22日～ 9月30日 平成28年 1月21日～ 3月31日	日曜及び月曜 午前6時から翌午前0時15分まで 火曜から土曜 午前6時から翌午前0時まで

- ・ 地上デジタルテレビ放送第2チャンネル・第3チャンネル及びBSデジタルテレビ放送第2チャンネル・第3チャンネル

番組編成期間及び放送時間	
毎日	午後1時から午後2時30分まで 及び 午後8時45分から午後11時まで

② 番組の種類

	番組名	番組内容
授業番組	授業番組	放送大学が放送教材として使用する番組
	特別講義	各学問分野等の第一人者が、それぞれの専門について、自由にあるいはさらに深く掘り下げて講義する番組
告知番組	大学の窓	大学からの各種お知らせや学習に役立つ情報を提供する番組
	特別番組	学習を進める上で参考になる話題、行事などをさまざまな形で放送する番組
	あなたの知りたい 放送大学	学部及び研究科の内容、科目選択の方法等を紹介する番組
	もう一度みたい名講義 ～放送大学アーカイブス～	過去の名講義を改めて紹介することで、放送大学で学ぶことの意義と魅力を伝える番組

(2) 放送設備の整備

安定した放送を確保するため、主調整室の補修等を行うとともに、放送関連施設及び機器の保全・管理等を実施した。

(3) 放送事故

平成27年度において、放送事故は発生していない。

(局地的豪雨の影響によるBS放送の停波事故が生じないよう、B-SAT社において対策が講じられた。当該B-SAT社における対策検討のための議論に参加した。)

3 前2号に掲げる業務に附帯する業務に関する事項

(1) 広報活動の実施

各種広報資料の作成・配布、公開講演会の開催、新聞・雑誌・テレビ・インターネットを利用した広報を行うとともに、各種行事に参加した。

また、効果的な広報戦略に資するため、学生確保戦略を策定し、広報活動体制の充実、学園本部と学習センターとの連携協力体制の強化等を行った。

① 放送大学の周知に係る広報活動

- ・ ホームページの充実
- ・ 各種行事への参加
- ・ 公開講演会（各学習センター）の実施（計702回）（平成28年3月31日現在）
- ・ 図書館所蔵コレクション展の実施（群馬県、山形県、愛媛県）

② 学生募集に係る広報活動

- ・ 学生募集ポスター、学生募集リーフレット、その他広報資料の作成
- ・ 新聞、テレビ、雑誌、インターネット等のメディアを活用した学生募集広告の実施
 - 〔 テレビCM 各地方局及びケーブルテレビ局等
 - 〔 新聞広告 読売、日経新聞等
- ・ 学生サポートセンターによる資料請求者へのフォローコールの実施
- ・ オープンキャンパス及び個別相談会（各学習センター）の実施

- ・ 生涯学習センター等公共機関への資料配付協力要請
- ・ 関係府省庁の刊行物、各自治体広報誌及びホームページの活用

(2) 調査研究の実施

① 視聴状況調査

学生に対して、放送番組の編成に対する視聴者ニーズや一般的な視聴・受信状況の把握に資する調査を実施し、その結果の活用を図った。

② 総合的なメディア活用の在り方に関する調査研究

BS デジタルテレビ放送等の高度化に関する調査・研究として、ハイブリッドキャストの実証実験を行った。

(3) 事務電算システムの運用等

① 各種業務システム等の運用・管理

人事・給与システム、財務・会計システム、教務情報システム（システムWAKABA）、図書システム、大学院研究指導支援システム、情報基盤システム、文書管理システム等の運用・管理を行った。

② 新教務情報システムの設計

教務事務の効率化および教務制度の変革に柔軟に対応するため、平成29年度の稼働を目指し、新たな教務情報システムの設計を実施した。

(4) インターネット配信

学生の利便性の向上等に資するため、放送による授業の補完として、ラジオ授業科目のうち168科目（夏季集中科目6科目を含む）について、インターネット配信を実施した（うち2科目をについて、字幕を付与する実験を実施。）。また、テレビ授業科目のうち174科目（夏季集中科目5科目を含む。）について、インターネット配信実験を実施した（うち、字幕付与科目は111科目。）。

(5) 特別修繕準備金

特別修繕準備金から145,950,985円を取り崩して特別修繕費に充てた。

4 その他学園の行う業務に関する事項

- ・ 学生等の受信環境の向上を図るため、ケーブルテレビ事業者による再放送の拡充を図った。
- ・ 社会のニーズや環境の変化等を踏まえ、教育機能の強化・充実や業務運営の効率化等必要な改善を行った。